

「働きがいのある会社（Great Place to Work）」に2年連続で選出

February 15, 2016



アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーン）は、Great Place to Work Institute(R) Japan（以下GPTWジャパン）が実施する2016年の「働きがいのある会社（Great Place to Work）」調査において、参加企業321社のうち、従業員数100～999名の企業カテゴリーにおいて24位にランクインしました。国内でアッヴィがベストカンパニーに選出されるのは昨年に続き2年連続となります。

ベストカンパニー選出を受けて、社長のジェームス・フェリシアーンは、「このたびは、名高い『働きがいのある会社』調査のベストカンパニーに、2年連続で選出されたことを大変誇りに思います。弊社では『患者さんの笑顔に貢献し続ける』ことをビジョンに掲げ、患者さんやそのご家族のために、社員一人ひとりが自分の立場でできることを、熱意を持って毎日実践しています。今後も、社員が社会や患者さんに貢献しながら個々の目標を達成できる環境づくりを、全社一丸となって進めてまいります。」とコメントしました。

同調査は世界49カ国で実施されており、参加企業の従業員が「経営・管理者層への信頼」「仕事や会社への誇り」「仲間との連帯感」に関連する58の設問などに無記名で回答する「従業員へのアンケート」と、企業文化や会社方針、人事施策に関する具体的な取り組み内容を参加企業が回答する「会社へのアンケート」の2種類を、世界共通の基準で評価します。

【Great Place to Work(R) Instituteについて】

Great Place to Work(R) Institute は、世界49カ国で「働きがいのある会社（Great Place to Work(R))」を世界共通の基準で調査分析し、各国ごとに評価を行い、各国の有カメディアで「働きがいのある会社のランキング」として発表しています。米国ではこの「働きがいのある会社」リストに名を連ねることが、「一流企業の証」と受け止められています。

日本では2007年から調査・発表を行っており、今年（2016年）で10回目となります。関連記事が日経ビジネス誌2月15日店頭発売号に掲載されているほか、GPTWジャパンのサイト上 (<http://www.hatarakigai.info>) でも紹介されています。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細はwww.abbvie.com をご覧ください。よろしければTwitterアカウント@AbbVieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の900人の社員が、医療用医薬品の研究・開発や販売に従事しています。自己免疫疾患・新生児・肝疾患・ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。